



ほ な み

# 穂 立

第6号

令和5年9月25日発行

<https://toyoura.shibata.ed.jp> (随時、日記更新中!!)

## 豊浦中学校体育祭 全力のパフォーマンスに感動!

校長 小嶋 修

2学期始業式では、「体育祭や合唱コンクールなどの学校行事等を通して、仲間と協力しながら、『自分のよさに気づくこと』『失敗を恐れず挑戦すること』を意識して、充実した2学期にしてほしい」と話しました。

9日に行われた体育祭は、「百戦錬磨～勝利と希望を胸に～」のスローガンのもと、熱い気持ちがぶつかり合う大変な盛り上がりを見せました。生徒が全力で取り組む中、一人一人のよいところを数え切れないほど見つけることもできました。試行錯誤しながら、当日は見事なパフォーマンスを発揮していました。失敗を恐れず全力プレーする姿や仲間に笑顔で前向きな声を掛ける姿、成長を感じさせるたくましい姿、競技中のフェアプレー精神など、多くの観ている人に感動を与え、清々しい気持ちで無事に終わることができました。特に、学校の顔である3年生のリーダーシップに感謝します。

この生徒の姿を観て、「ノーサイド」という言葉が頭に浮かびました。試合が終われば自陣と敵陣のサイドはなくなるという意味で、ラグビーの試合終了時にレフリーが用いた用語です。ラグビー発祥の地イングランドでも1970年代ぐらいまでは使われていたそうですが、今は世界的にも試合終了は「FULL TIME(フルタイム)」が一般的ということです。日本以外では使われていないとのことですが、そこに宿る精神は大切なのではないかと感じています。「試合が終われば敵も味方もなく、お互いの健闘を称え合い、感謝し、相手を労い思いやる」という思いが込められていると考えるからです。

体育祭が終われば、学校生活を過ごす仲間です。フェアな気持ちで全力を出し切ったからこそ、爽やかにお互いを称え合う姿が見られました。これからも、一人一人のよさや個性を輝かせ、よりよい学校を創るために全員が全力を出し合う姿に期待しています。

ここからは体育祭の感想や写真などを大特集します。

体育祭当日は、予行練習の時とは違い、すぐに整列していてとてもスムーズに進行していたように感じました。また、各団が他学年の競技中も大きな声で応援していてとても盛り上がっていました。さらに、今年の体育祭は今までとは違い、異常な暑さでけが人や熱中症になる人がたくさん出ると思っていましたが、そのような人も一人もなく、全員が開会式から閉会式まで参加していてとても良かったと思いました。

体育祭では、仲間と協力して一つの行事を成功させることの大切さを学び、貴重な経験にすることができました。

体育祭実行委員長



赤団スローガン「全戦全勝」



団長による選手宣誓



青団スローガン「雲外蒼天」

「楽しい」が残った体育祭だった。最初は意見が合わず、とても大変だった。しかし、互いのよさを正直に認め合ったからこそその結果になったと自分は思う。

また、「三年生が主役の体育祭」ではなく、「一・二年生も主役の体育祭」と胸を張れるようなことができたと思った。三年生は学年種目や大縄で勝つことができなかったが、一・二年生が勝ってくれて本当に助かった。

赤団のみんなが一つになって協力して体育祭に臨めて本当にうれしかった。正々堂々と戦ってくれた青団の人や、様々な面でサポートしてくれた先生方にも感謝している。

本当にありがとうございました！！

赤団団長

私は、最後の体育祭をみんなが「楽しかった」と思えるようにしたいという気持ちで団長になり、青団を引っ張ってきました。練習では、幹部を中心にスムーズに進めることができました。みんなのおかげで青団が一丸となり、「負けたくない」という気持ちでいっぱいでした。そして、エールなど声を出して応援するところも順調にみんなが大きい声を出して進めることができ、本番を迎えることができました。でも、悔しい結果で終わってしまいました。しかし、いい思い出を作ることができました。

最後の体育祭で団長をして私は、まとめる力がついたと思いました。このメンバーで体育祭をするということは最後だったので、全力で戦い抜き最高の感動を味わうことができました。それはみんなが最後まで戦ってくれたおかげだと思います。本当にありがとうございました。

青団団長



1 学年種目「台風の日」

1 学年種目の「台風の日」は、実際にやっている 1 年生だけでなく、応援する皆さんにも楽しめるように考えました。練習では、私たちが思っていなかった問題がたくさんあり、改めてルールを決め直しました。また、予行練習でも、玉入れの箱やミニハードルの位置をくわしく決めていなかったことから、準備にとっても時間がかかってしまいました。体育祭本番では、前日までにルールの説明や道具の準備を行うことができていたのでスムーズに競技を進めることができました。学年種目をうまく運営でき、体育祭を楽しむことができて良かったです。

1 学年委員



2 学年種目「具だくさんリレー」

今年の 2 学年種目は「具だくさんリレー」という名前で、二人三脚やボール運び、箱運び、ぐるぐるバットをリレー形式でつなぎました。競技している私たちはもちろん、応援席にいる人も全員が楽しめるような競技を企画しました。種目を考案するために学年委員みんなで頭を悩ませました。悩んだ分、当日はみんなが一生懸命競技をして、チームで団結して盛り上がることができました。悩みながらの企画、運営、当日の熱狂感など、すべてが私のいい経験となりました。

2 学年委員



# 大接戦！ 白熱した戦い!!



3学年種目「伝統！タイヤ引き」



学級対抗「大縄跳び」



「お助け！全校綱引き」



「全校大玉送り」



「団対抗選抜リレー」



青団パフォーマンス



赤団パフォーマンス

## 【最終結果】

総合優勝	赤団
競技の部	赤団
応援の部	赤団
パネルの部	青団

## お知らせ

### 【10月の主な予定】

- 10月 2日 (月) 教育相談 (～10日)  
1年定期テスト②2日目
- 10月 3日 (火) 全校朝会 (報告会)
- 10月 4日 (水) フッ化物洗口 下越駅伝大会
- 10月 5日 (木) 諸校費口座振替日
- 10月 11日 (水) 1年地域探求・調査活動  
2年職場体験活動  
3年福祉体験学習
- 10月 12日 (木) 2年職場体験活動
- 10月 13日 (金) 貧血検査
- 10月 16日 (月) 生徒朝会  
※合唱コンクール週間  
(～10/28まで)
- 10月 17日 (火) フッ化物洗口
- 10月 18日 (水) 専門委員会
- 10月 24日 (火) フッ化物洗口
- 10月 28日 (土) 合唱コンクール
- 10月 30日 (月) 振替休日

### ○新発田市新人大会

応援をお願いします

9月 27日 (水)

陸上競技 五十公野公園陸上競技場

軟式野球 真木山球場

ソフトテニス

男子 サンスポーツランドテニスコート

女子 五十公野公園テニスコート

バレーボール 加治川中学校

### ○給食がありませんので、

ご協力をお願いします

10月 11日 (水)

28日 (土)

お弁当のご用意等、ご面倒をお掛けいたします。

※2年生は、12日 (木) も職場体験活動で給食がありません。

## 「広島平和記念式典」に参加して

新発田市では、夏休みなどを利用して、中学生を対象に新発田市核兵器廃絶平和都市宣言事業を行っています。「広島平和記念式典派遣」「長岡市平和学習会」「しばた平和のつどい」に代表生徒が参加してきました。

1日の2学期始業式では、広島平和記念式典派遣事業に参加した代表生徒が、学んだことを、次のように写真を取り入れながらプレゼンテーションをしました。

皆さんは約78年前、広島で何があったかわかりますか？

今から約78年前に世界で初めて、広島に原子爆弾が落とされました。それによる死者は約14万人になります。今から話すのは私が広島へ行き、学んだことです。

私は、8月5日に広島平和記念資料館へ行き、当時の様子が細かく表されている文や写真、絵画を見てきました。その中で一番私の心に残っているものは、この写真です。この写真は原爆で亡くなられた三人の中学生の遺品です。亡くなられた三人の中学生は私たちのように学校でたくさんのことを学び、将来の夢に向かって生活し、この日本で活躍してくれる方々だったと思います。その尊い命がたった1つの原爆で失われたと思うと、胸が痛くなります。その他にも、原爆が地面に落ちた時の色、熱、光について書いてあったり、まだ見つかっていない自分の子供を探しているような文章があったり、自分の子どもや親が亡くなってしまったことへの悲しみが鮮明に書かれていました。皆さんはこれらの写真を見てどのように感じましたか？私は実際にみて、原爆一つでどれだけの人に悲しみと絶望を与えたのかを知ることができました。原爆を落としたアメリカでは原爆を落としたことについて批判する人はほとんどいないのです。

次に、皆さんはこの像を知っていますか？

三年生は英語の時間に学習しました。これは原爆が落とされた10年後に白血病で亡くなってしまった佐々木禎子さんをモデルにした原爆の子の像です。禎子さんは入院中、お見舞いとして名古屋から千羽鶴が贈られたのをきっかけに、「生きたい」という願いを込め、折り鶴を折り始めました。その願いもむなしく、体調は次第に悪化し、8カ月間の入院生活の末、1955年10月25日に亡くなりました。闘病中、禎子さんは1300羽以上鶴を折ったと言われています。この話から原爆の子の像の周りにはいくつもの千羽鶴が飾られていました。

また、8月6日には平和記念式典が開催され100を超える国の人々が参列しており、たくさんの人で溢れていました。そこで広島市長や岸田総理、子ども代表の話の話を聞きました。子ども代表の言葉は小学6年生が話しており、たくさんの人がいる中で堂々と話している姿を見て見習わないといけないと感じました。8月7日はフェリーで宮島までいきました。そこでは厳島神社大鳥居を見てきました。近くで写真を撮れる場所は2時間待ちで国内外から沢山の観光客がいました。また、宮島には鹿がいたり、島の景観を壊さないようにコンビニが周りと同じ色で作られたりしていました。

最後に、いつも優しく接してくれる友達、分からないことがあったらすぐに教えてくれる先生、わがままを言っても文句一つ言わずに育ててくれる家族がいることに常に感謝の気持ちを持ち、過ごしていきたいです。また、もう二度と戦争で苦しめられながら亡くなる人が出ないように今回の学習で学んだことをできるだけたくさんの人に伝えられるような活動をしていきたいです。

皆さんもぜひ、自分に何ができるのかを考えながら過ごしてください。

(代表生徒)



全校で平和について考える貴重な機会とすることができました。この機会が、一人一人にとって、「自分に何ができるのか」、真剣に考える契機になることを期待しています。